概要: MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケータ は、HART®規格のユニバーサルコマンド、コモンプラクティスコマンド、デバイススペシフィックコマンドを全てサポートする ハンドヘルドコミュニケータです。



ドッキングステーションでの充電は、本質安全防爆に含まれません。防爆エリア(危険エリア)内での使用しないでください。 本体取扱説明書の Control Drawing の"Hazardous Area Use"の部分を参照ください。

バッテリの装着と取りはずし バッテリパックは二つのネジ (7/64" 六角レンチの 6-32 標準ネジ) で本体に固定されています。バッテリケースのネジを過度に締めつけないでください。 **装着:** 平らで安定した場所で、表示器を下にして、本体を置きます。装着スペース内のコネクタとバッテリパックを 1cm 程離して置きます。バッテリパックを装着スペースに沿って、 コネクタが完全に接する様に、上にスライドします。ネジを留めて、装着が完了します。 取り外し:上記操作の逆の手順を実施してください。

NOTICE

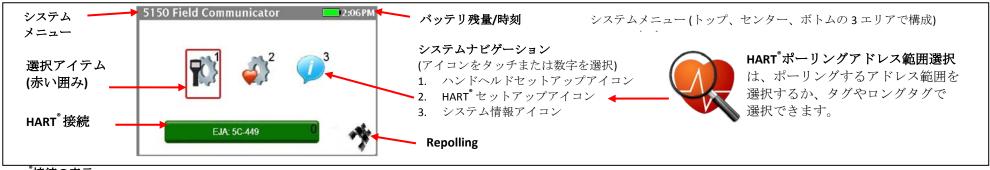
バッテリパックには高性能な容量管理機能が含まれており、自律的に容量を監視しています。そのためバッテリパックの使用において、バッテリの初期化処理などは必要ありません。

NOTICE

ドッキングステーションは、バッテリパック単体での充電をサポートしていません。正しく充電するには、バッテリパックをコミュニケータ本体に装着してからドッキングステーショ ンに置いてください。

MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケータの立ち上げ

電源ボタンを1秒間押して離します。約2秒後に、スプラッシュ画面が表示され、MFC5150 Series ハンドヘルドコミュニケータのアプリケーションが起動します。 HART®機器の接続: 電源投入時に、メインシステムメニューが初期画面で表示されます。HART® メニューからもいつでもアクセス可能です。



HART 接続の表示

no device found

有効なポーリング範囲に機器が見つからなかったときに表示されます。コミュニケータは HART®セットアップで選択した HART®アドレス範囲 をポーリングし続けます。もしポーリングアドレス範囲が一つで、機器の接続を確立した場合、他の機器へのポーリングを中止します。ポー リングアドレス範囲が複数のアドレスで、機器の接続を確立した場合、接続可能な機器を見つけるために、全範囲のアドレスをサーチし続けます。

Devices Found: 2

ポーリング範囲に複数の機器が見つかり、どちらかの機器を選択しなければならないときに表示されます。黄色のアイコンを押すと、ポ ーリングアドレス範囲の全機器のリストボックスが表示されます。一度機器を選択して、"Accept"を選択すると、リストボックスが消え

Initiating Device

て、コミュニケータが接続を開始します。

選択された機器に接続を確立し、機器情報記述 (DD: Device Description)を読みこんでいるときに表示されます。

EJA: 5C-449

通信が確立し、機器が HART®ネットワークに正常に接続したときに表示されます。コミュニケータは他の機器に連続して接続にいくこと はありません。緑のバーを選択すると、コミュニケータはシステムメニューから、オンライン HART®メニューに移ります。

オンライン HART®メニュー - (SDC-625)

HART®機器メニューは、HART®通信可能な機器が接続され、HART®と通信できる時のみ、アクセス可能です。

